



あきよし ふうた くん
(5さい)

しょうぼうしゃが すきで
よく しょうぼうしょへ
みに いるよ。おお
きくなったら しょうぼう
しに なって かじから
たすけてあげるからね。



奥春別森の保育園のおともだち

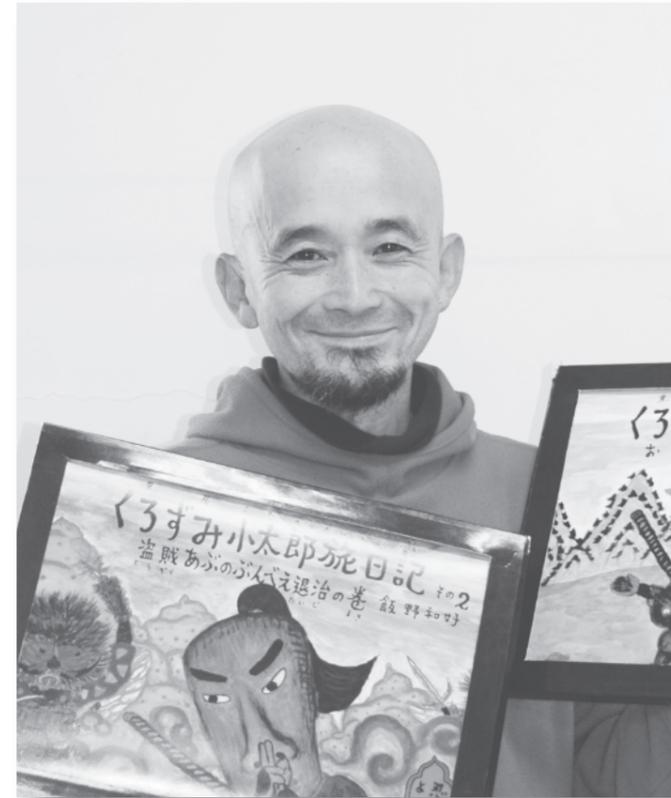


はしだ あかり くん
(6さい)

かっこいい けいさつかん
に なりたいな。どろぼう
や スピードいはんを し
た ひとを つかまえるか
らね。みんなを まもって
あげたいんだ。

がんばっているあなたがすき

シリーズ・ひと



もっとたくさん、子どもたちのところへ行きたい
町の紙芝居屋さんとして活躍する
フジワラ トシカズさん(48歳・美留和)

子どもフェスティバルやは
らっぱまつり…。町内のいろ
んなイベントで紙芝居さん
を見かけることが多くなりま
した。熱演を繰り広げているの
がフジワラさんです。
「昨年の夏「虹のわまーケット」
というイベントがあり、実行委
員の方から紙芝居屋さんをや
ってほしいと依頼されたのがき
っかけでした。これまで、劇団で
役者をしたり、ナレーターや声
優の仕事をしたことはありま
したが、紙芝居は初めてで…。
実際の感想はいかがでしたか。
「子どもに絵本の読み聞かせ
をすることが大好きでしたし、
仕事としてテレビやラジオの
経験もあつたので、違和感なく
始められると思ったのですが、
全く違いました。ごく狭い空間
で少人数に対してパーソナル
に読み聞かせるのとも、舞台な
どで広範囲の方に対して芝居
を行うのとも違う奥深さがあ
り、打ちのめされると同時にの
めりこみました。
具体的には、どういった奥深
さでしょう。
「瞬間の雰囲気が一番大事だ
ということ。花や木を通して、美しく
潤いのあるまちづくりを推進したい
と有志が集まり、設立されました。

語に入り込めなかったりする
ので。お客さんの反応や雰囲気
を見るため、また芝居経験も手
伝って、上演中はよく動いてい
ます。体全体で演じています。
東日本大震災の被災地でも、紙
芝居の上演を行ったそうです。
「5月に岩手県の宮古市と山
田町を訪れました。たくさん
子どもたちが紙芝居を見てく
れて、たくさん笑顔に出会え
たことがうれしかったです。
今後の抱負は。
「もっとたくさん、子どもたち
のところへ行きたいと思っ
ています。イベントばかりではな
く、例えばお誕生会など、ぜひ
気軽に呼んでほしいです。また
現在、借りた紙芝居や舞台を
使っているのですが、自分で絵
を描き、お話を考えた、オリジ
ナルの紙芝居を作って演じた
いです。舞台もできれば手作り
したい。ほかに、お年寄りには
時代劇小説の朗読をしたり、大
切な仲間と芝居をするなどし
て、皆さんの笑いを呼び起こし
たい。地域に密着した芸能に携
わり、発信していくのが夢で
す。絵本の会おはなしはらっぱ
さんや図書館をはじめ、この町
で素晴らしい出会いに恵まれ
ていることに感謝しています
し、だからこそ夢を形にするこ
とも可能だと思っています。



摩周フラワーマスター協会
代表・渡邊 昇さん
会員・23人



摩周フラワーマスター協会主催の園芸講習会(27ページ参照)

摩周フラワーマスター協会は、19
91年に設立されたボランティアア
グ
ループです。花や木を通して、美しく
潤いのあるまちづくりを推進したい
と有志が集まり、設立されました。



春に行った役場庁舎前の花壇整備の様子

今後について
「花壇は心
のゆとりと、観
光や地域の活性
化につながりま
す。これから
意欲的に活動し
ていきたい」と話
してくれました。

毎年春には、役場庁舎前の花壇整備
を行っています。色の配置などを考え
ながら花を植えていく作業は、大変で
ありますが楽しくもあるそうです。
また、町内の花壇を対象とした花壇
コンクールも毎年行っています。今年
から、一般の部のほかに新たに学校
の部と自治会の部を設けました。する
と、昨年より90点も多い約170点の
応募があつたそうです。
年に一度は近隣市町村の花壇を訪
れ、研修を行っているという会員の皆
さん。代表の渡邊さんは「毎年花壇をつ
くっている方は、年々アイデアが豊富
になっていきます。会員もそれぞれ花壇
をつくっていますが、いろいろな方
の花壇を見せていただくことで、大変勉
強になっています。また、町の方々の
花壇コンクールへの応募が増えたの
はうれしいこと。町ぐるみでの花によ
る美化活動や、観光客へのおもてなし
の気持ち浸透してきたという表れで
しょう」と話して
いました。